

急激な少子高齢化や国際化・情報過多の中で、本町の豊かな自然や歴史・文化などを活用して、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、子どもから高齢者まで、時間的、精神的ゆとりの中で、いつでも、どこでも、だれもが自由に集い学ぶことができる環境づくりを配慮してまいります。

家庭教育の推進

特に、近年注目されているのが「親学」であり十分に社会性や常識力を身に付けていない大人が親となる状況が多々あり、子どもを育てるうえで適切なアドバイスができていないことが見受けられます。このことは親と子だけの生活環境であつたり時間的なゆとりのない現代社会の弊害からくる現象です。

社会教育ではその解消を図るべく親学と称し母親学級・父親教室を実施し子供を育成する環境を整えます。

青少年の健全育成

青少年の健全育成でありませんが、依然として非行や犯罪



絵本まつり

を絵本の読み聞かせなどと併せて本年度も継続するとともに、各学校での一斉読書を推進し、読書習慣の定着を図ってまいります。

また、保健福祉センターの図書室については、多くの方々に利用していただくためポランテニア団体と連携した蔵書整理と環境整備に取り組み、利用者ニーズに合った図書の実践に努め、富良野沿線5市町村で行なっております視聴覚ライブラリーとしてのビデオ・DVDの貸出や広域連携の取組みによる、圏域市町村住民にも蔵書の貸し出しを今後も行なってまいります。

公民館活動の充実

が低年齢化しているなど青少年をめぐる問題が深刻になっており、このような社会的問題は、親などの大人の言動や姿勢、情報規制など社会のあり方が大きく反映していると言われておりますので、学校、家庭、地域が相互に連携した自然や人々とのふれあいなど活動機会の提供に努めてまいります。

交流事業の推進

友好の町「沖縄県本部町」との親善交流事業につきましましては、24回を重ね、多くの子ども達による交流が行われてきております。北と南の子ども達の友情の輪の拡大と風土、歴史、文化の違いを自ら体験



沖縄県本部町での交流



史跡見学会

公民館分館事業は、地域の集いの場として地域の相互学習の場としてそれぞれの地域の企画により地域特性を活かした活動ができるよう引き続き事業推進を図ります。

学習活動の支援

住民自主企画活動支援事業につきましましては、住民が必要とする多様な学習形態に対応した事業であり、これまで様々な「講演会」や「体験ワークショップ」を交えたコンサート」の開催など多様な分野において事業が開催され、日常生活の課題解決や健康増進、コミュニケーション活動の推進などに成果がありますので、平成

し学ぶことは極めて貴重であり、この事業を通じて両町のホームステイによる家族間相互交流も芽生え、また継続されるなど交流の輪が広がっていることから、今後もさらに両町の絆が深まるものと考えます。また、事前学習の場や事後交流の手段として対象校どうしがインターネット回線他、タブレットを使用した交流ができるよう支援を行います事業の推進を図ります。

成人教育の充実

成人教育についてでありませんが、成人期は、家庭、職場、地域社会において中心的な役割を担っている世代であり、



千里大学と落合小児童との世代間交流

26年度においても生涯学習の一環として引き続き住民の自主的活動を支援してまいります。

郷土学習の推進

町内の歴史の跡である史跡については、平成20年度に作成した史跡マップを活用し町民の史跡めぐりや、開拓史の学習の場として各学校の継続した授業を開催し、郷土学習の推進を図ってまいります。

スポーツの振興

次に、体育・スポーツの振興についてであります。町民だれもが心身ともに健康で明るく充実した生活を維持していくために、各自の体力や能力にあつたスポーツを楽しみ、生活の中に積極的に取り入れて行くことが大切であると考へますので、スポーツ推進委員及び町体育協会・総合地域スポーツクラブ「ゆつく」などの他、体育関係団体などの連携と協力をいただきながら、引き続き各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催するとともに、昨年度に引き続き「町民フロアカーリング

働く女性の増加に伴い、女性の社会参加も拡大されてきておりますので、幅広い学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動に引き続き支援してまいります。

高齢者大学の充実

千里大学につきましては、それぞれの課程の中で、自己を豊かにし、生きがいや楽しみを求めて意欲的に学習活動を展開しておりますので、引き続き学習内容の充実に配慮してまいりますとともに、高齢者の持つ豊かな生活体験や人生経験を活かす機会を提供するよう努めてまいります。



千里大学授業

にも学習できる場を提供するため「研究生」として在籍し活動できるよう制度を確立いたします。

語学教室の開催

町民の国際理解と語学力の向上のために開設してありますが、英会話教室につきましても引き続き実施し継続的な語学教育を展開してまいります。

芸術文化の振興

次に、芸術文化の振興についてであります。生活水準の向上や余暇時間の増大に伴い、心の豊かさを求め、趣味の学習や文化活動に対する関心が高まってきているところから、文化協会を中心とした団体・サークルへの支援を継続して行い、さらに、鑑賞事業の充実を図ってまいります。

読書活動の推進

読書活動の推進につきましましては、平成22年度に策定した読書推進計画に基づき、「子ども絵本まつり」の開催と家庭において幼児期の親子のふれあいと絆を深めていただくための「ブックスタート事業」

大会」を開催し、町民の健康増進や体力づくりに配慮してまいります。

また、町民が各種スポーツ競技の全道大会、あるいは全国・国際大会等に出場する経費の一部を補助し、競技選手への育成と町民のスポーツ活動への意識高揚を図ることを目的とした「アスリート派遣補助金」制度を創設いたしました。が、本年度においてもスポーツの技術力向上のため、アスリートの育成に必要な支援を継続してまいります。

各スポーツ少年団の活動は、年々活発化し各種大会で好成績を収めるなど、成果を上げていただいているところであります。



町民フロアカーリング大会

りますが、活動の活発化に伴い、大会参加のための保護者負担が増加している状況でありますので、スポーツを通して子ども達の心身の健全な育成を図るとともに支援を行ってまいります。

以上、平成26年度の教育行政の執行に対する方針を申し上げます。また、教育委員会といたしましては、課せられた使命や責任を深く認識して、町民皆さまの負託にこたえるため、町をはじめ教育関係者と協力し最善の努力をさせていただきますので、議員各位、並びに町民皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

